

第43期 中間報告書

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日

NIPPON STEEL TRADING CORPORATION



日鉄物産

証券コード：9810

企業理念

1. 新たな社会的価値を持った製品、サービスを生み出す高い志を持った企業グループであり続けます。
2. 信用、信頼を大切にし、お客様と共に発展します。
3. 人を育て人を活かし、人を大切にする企業グループを創ります。

経営方針

1. 日本製鉄グループの中核商社として四事業分野の強化と拡充
2. グローバル戦略の加速
3. 複合専門商社としての総合力の発揮
4. コンプライアンスの徹底

株主の皆様へ

ご挨拶

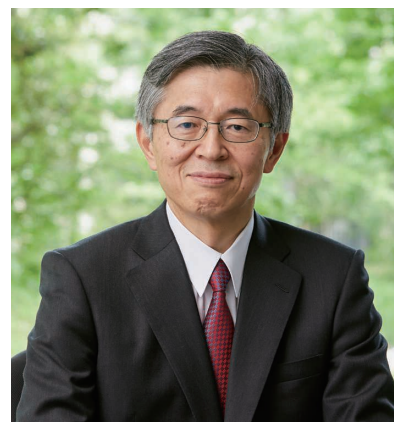
株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第43期上半期（2019年4月1日から2019年9月30日まで）が終了いたしましたので、ここに当上半期の事業の概況等をご報告申し上げます。

本年4月1日からの新しい商号「日鉄物産株式会社」として、新たな気持ちで「鉄鋼」「産機・インフラ」「繊維」「食糧」という四つの事業をそれぞれ成長させ、企業価値を拡大、お客様と社会に更に貢献できるエクセレントカンパニーを目指してまいります。

なお、中間配当金につきましては、去る11月7日に開催されました取締役会により1株につき115円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

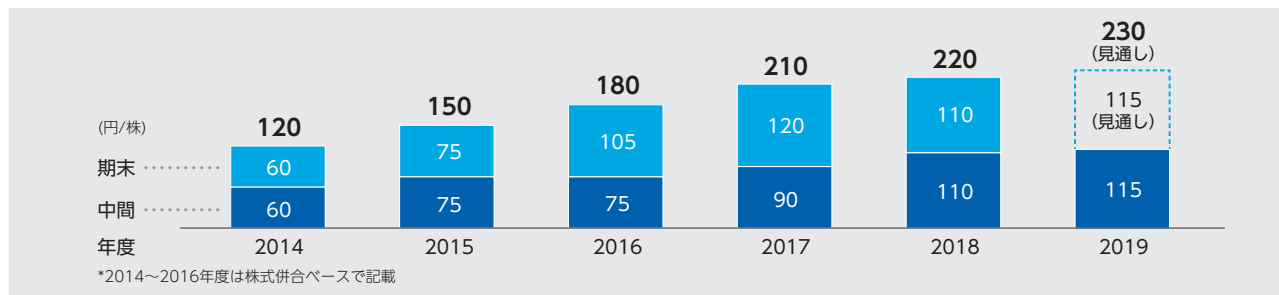
佐伯 康光

2019年12月

全社業績の概要

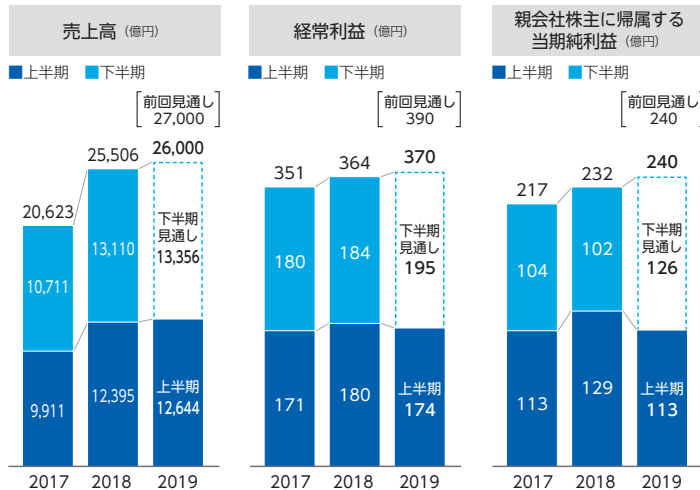
	当上半期 (2020年3月期)	前上半期 (2019年3月期)	増減	
売上高	1兆2,644億円	1兆2,395億円	248億円	2.0%
経常利益	174億円	180億円	△ 5億円	△ 3.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	113億円	129億円	△ 16億円	△ 12.4%

当社配当の推移



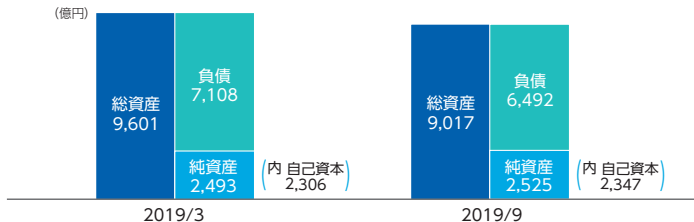
財務ハイライト

売上高／経常利益／親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



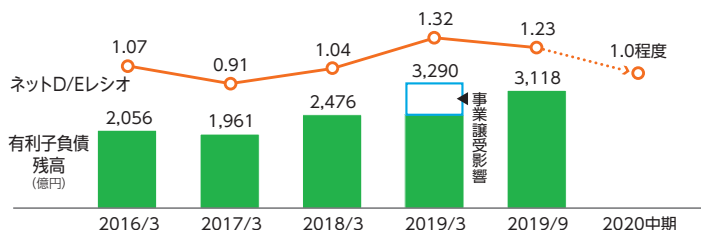
- 当上半期の売上高は事業会社の子会社化や海外売上の増加等により、1兆2,644億円(前年同期比2%増)となりました。
- 経常利益は産機・インフラ事業と繊維事業が増益となる一方、鉄鋼事業では減益となり、174億円(前年同期比3.3%減)となりました。
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期の負ののれん発生益が剥落したこと等により113億円(前年同期比12.4%減)となりました。

連結貸借対照表



- 当上半期末の総資産は前期末の休日要因の戻りによる売上債権の減少等があり、9,017億円(前期末比584億円減)となりました。
- 当上半期末の自己資本については2,347億円(前期末比41億円増)、自己資本比率については26.0%(前期末比2%増)となりました。

ネットD/Eレシオ／有利子負債残高

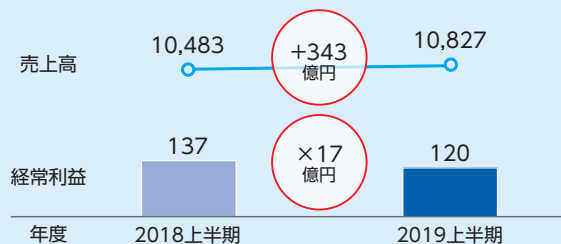


- 当上半期末の有利子負債は3,118億円となりました。ネットD/Eレシオについては、1.23倍(前期末1.32倍)となりました。

セグメント別の業績

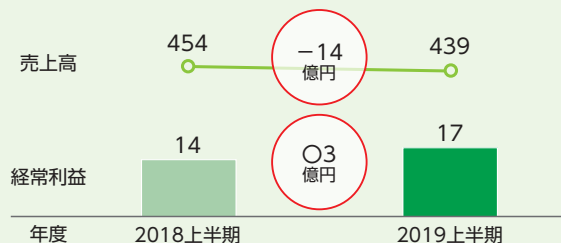
○ 鉄 鋼

- NST日本鉄板株式会社の連結子会社化の影響や輸出取引の増加等により売上高は前年同期比343億円、3.3%の増収となりました。
- 経常利益は、建設関連のコストプッシュや投資先におけるトラブルの一過性影響等もあり、前年同期比17億円、12.4%の減益となりました。



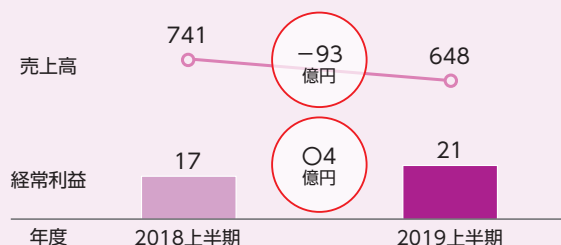
○ 産機・インフラ

- 売上高は前年同期比14億円、3.3%の減収となりました。
- アルミ等の高機能材の好調やタイの持分法適用会社における有価証券の評価益計上等もあり、経常利益は前年同期比3億円、26.2%の増益となりました。



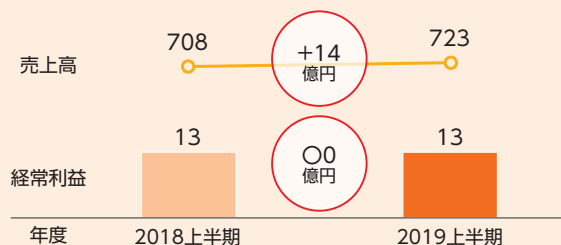
○ 織 維

- 売上高は厳しい販売環境や子会社株式の売却による連結範囲の変更等があり、前年同期比93億円、12.6%の減収となりました。
- 一方で小ロット、短納期化への対応強化によるロスの改善や子会社の業績好転等もあり、経常利益は前年同期比4億円、27.6%の増益となりました。



○ 食 糧

- 売上高は14億円、2.1%の増収となりました。
- チキンは市況下落により厳しい環境となりましたが、一方でポークの売上増加があり、経常利益は前年同期並となる13億円となりました。



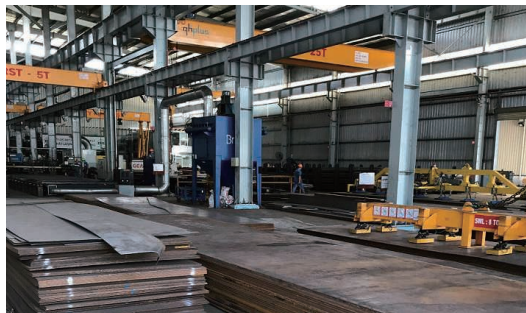
鉄鋼

ベトナム建材大手への追加増資

昨年出資をしたベトナム建材大手のQH PLUS CORPORATIONの第三者割当増資を引き受け、当社の出資比率は13.1% (引受前は10.5%) となりました。今後、同社への事業支援を更に強化し、ベトナム鉄鋼需要の捕捉強化とASEAN地区における鉄鋼製品の更なる拡販を目指してまいります。



左から当社の佐伯社長、QH PLUS CORPORATIONのHUY社長、当社鉄鋼事業本部を統括する宮本副社長



QH PLUS CORPORATIONの鋼材加工工場

鉄鋼

NSTコイルセンターが新拠点に移転

グループ会社のNSTコイルセンター株式会社は工場建屋の老朽化に伴い、2017年から移転を計画していた株式会社中山製鋼所の構内への新社屋建設とコイルセンター設備の移設を完了しました。これを契機に、より一層の顧客満足度の向上とグループにおける最適な鋼板加工体制を構築していきます。



新しい建屋の外観



コイルセンター内の様子

繊維

JALグループの新ユニフォームを受注

JALグループで2020年4月より整備士、グランドハンドリングスタッフが着用する新ユニフォームを当社が受注いたしました。

スポーツメーカーであるデサントジャパン株式会社と企画協業を行い、機能性に優れた耐久性の強い素材を使用し、全てにストレッチ性能を付加することで、スタイリッシュなシルエット、軽量かつ動きやすいデザインを提案しています。加えて、サステナビリティの観点から環境へ配慮した再生ポリエステルを使用し、更に生地調達から縫製までのサプライチェーンの透明性を図っています。

今後も長年OEM/ODM事業で培った企画提案力や物流機能と繊維業界におけるネットワークの相乗効果を高め、先進性・革新性のある衣料品を提供してまいります。



食糧

畜肉加工企業の株式取得

畜肉加工食品を開発・販売する企業であるコスモフーズ株式会社（以下「コスモフーズ社」）の全株式を本年9月30日に取得しました^(*)。コスモフーズ社は、高い商品開発力と生産工場への指導力により、良質・安全な商品を川下分野に提供する独自のビジネスモデルを有しております。

コスモフーズ社のグループ化により、当社の加工食品調達力や日協食品株式会社も含めた販売ネットワークを拡充し、更なる事業シナジーを追求してまいります。

^(*) 当社が90%、日協食品株式会社(当社完全子会社)が10%の株式を取得。



PRムービーを作成

当社は動画コンテンツの制作・配信を積極的に展開し、知名度の向上、当社事業への理解を深めていただくことにより、企業価値の向上を図っております。



視聴方法

<https://www.nst.nipponsteel.com/corporate/library.html>

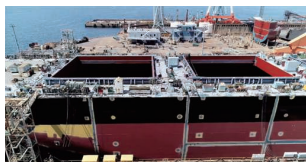


イメージムービー

2019年4月の商号変更に伴い、当社イメージムービーを作成しました。

本ムービーでは、単に社名が変わるだけでなく、社員自身が、四つの事業のプロとして、もっと輝いていく、という意気込みをモーショングラフィックスで表現しています。

地下鉄車内のモニターや動画サイトでも配信し、動画サイトでは100万回を超える視聴回数を獲得しました。



会社紹介ムービー (2019年度)

複合専門商社として当社の事業領域である「鉄鋼」「産機・インフラ」「繊維」「食糧」の4つの事業と「環境」「人材活用」「安全・品質・コンプライアンス」などのサステナビリティの取り組みを紹介しています。

また、日本語のみならず英語・中国語版も作成し、外国語へも対応しております。

環境への取り組み

夏休み子ども環境教室・職場体験を開催

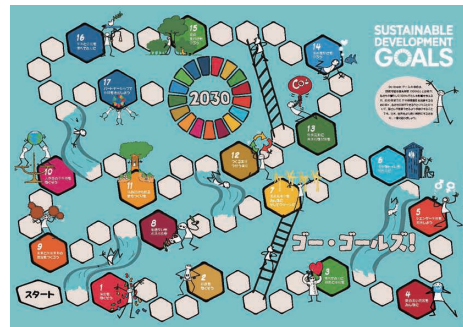
当社は、複合專業商社として、多岐にわたる事業活動をグローバルに展開しています。日々の事業活動から生じる様々な環境負荷を低減するため、当社グループ全員が、地球環境の保全や改善に取り組み、企業活動を通じて持続可能な地球環境の維持を積極的に推進しております。

環境活動の一環として、本年8月7日、「夏休み子ども環境教室・職場体験」を本社で行い、当社に勤める社員の子ども、小学2年生から5年生の男女20人が参加しました。SDGsを学びながら楽しめるスゴロクのワークショップや「ハチドリのはとしく 私にできること」のDVDを視聴し、地球温暖化という大きな問題を小さな私たち一人ひとりができることを一緒に考えました。

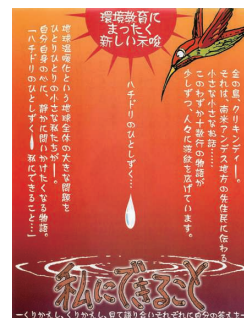
また、「商社の仕事」を理解してもらうため、海外とのテレビ会議、社長室訪問なども実施しました。

子どもたちは普段考える機会の少ない「環境」について学び、日々の生活を見つめなおすきっかけになったと同時に、親子の楽しい夏休みの思い出のひとつとなり、「夕食を囲みながら家族で環境について話した」という声もありました。

当社では、今後も「夏休み子ども環境教室・職場体験」のような環境CSR活動を継続的に実施し、環境意識の向上に努めてまいります。



国際連合広報センター
「ゴー・ゴールズ」スゴロクでSDGsを学ぼう!



「ハチドリのはとしく 私にできること」
(制作・著作 アニメーション画房わ組/ケントハウス)



海外とのテレビ会議の様子



SDGsスゴロクで遊ぶ子供たち

会社情報

本店	東京都港区赤坂八丁目5番27号
資本金	16,389,059,776円
事業内容	鉄鋼、産機・インフラ、繊維、食糧 その他の商品の販売及び輸出入業
従業員数	1,887名 (注) 従業員数は就業人員であり、国内及び海外出向者 293名を含めた従業員数は2,180名であります。
ホームページURL	https://www.nst.nipponsteel.com

取締役・監査役

代表取締役社長	佐伯康光
取締役	宮本常夫
取締役	竹内豊
取締役	野村有一
取締役	中村英一
取締役	杉口安弘
取締役	富岡靖之
取締役	嶋田俊治
取締役	遠近政則
取締役*	小倉良弘
取締役*	木下啓史郎
取締役*	井上龍子
常任監査役(常勤)	前田真吾
監査役(常勤)	南谷忠義
監査役***	杉本茂次
監査役***	津加宏

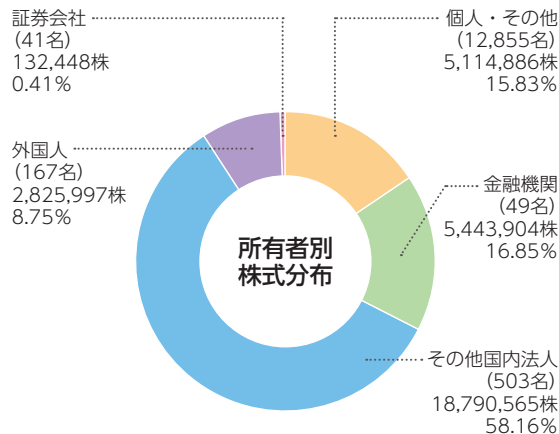
(注) *は、社外取締役を示しております。
***は、社外監査役を示しております。

株式の情報

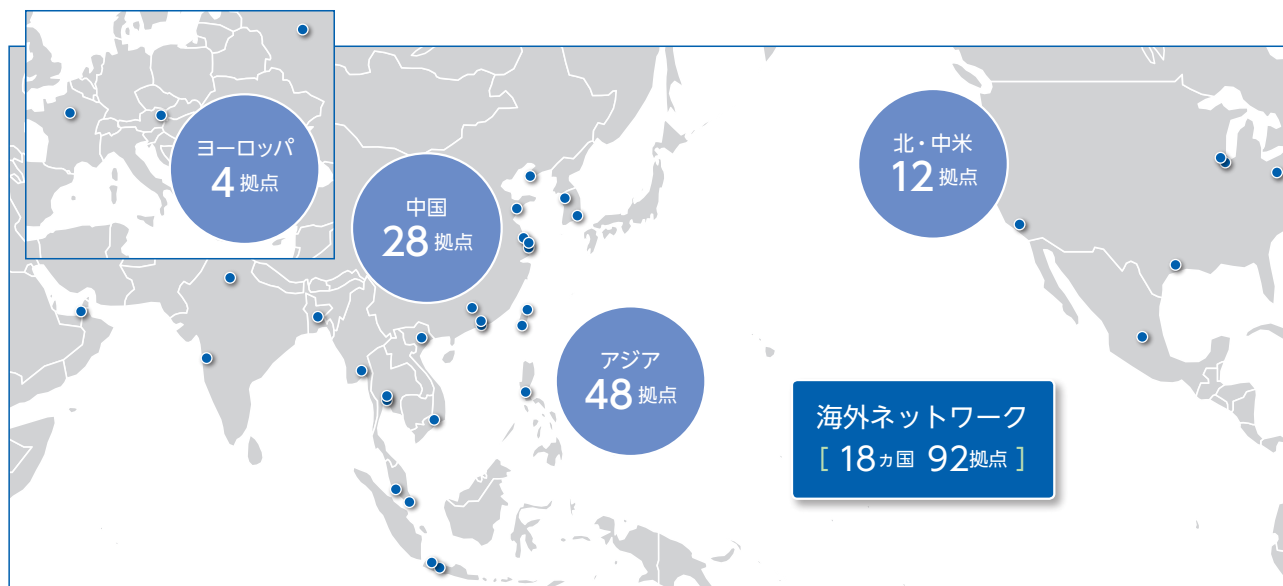
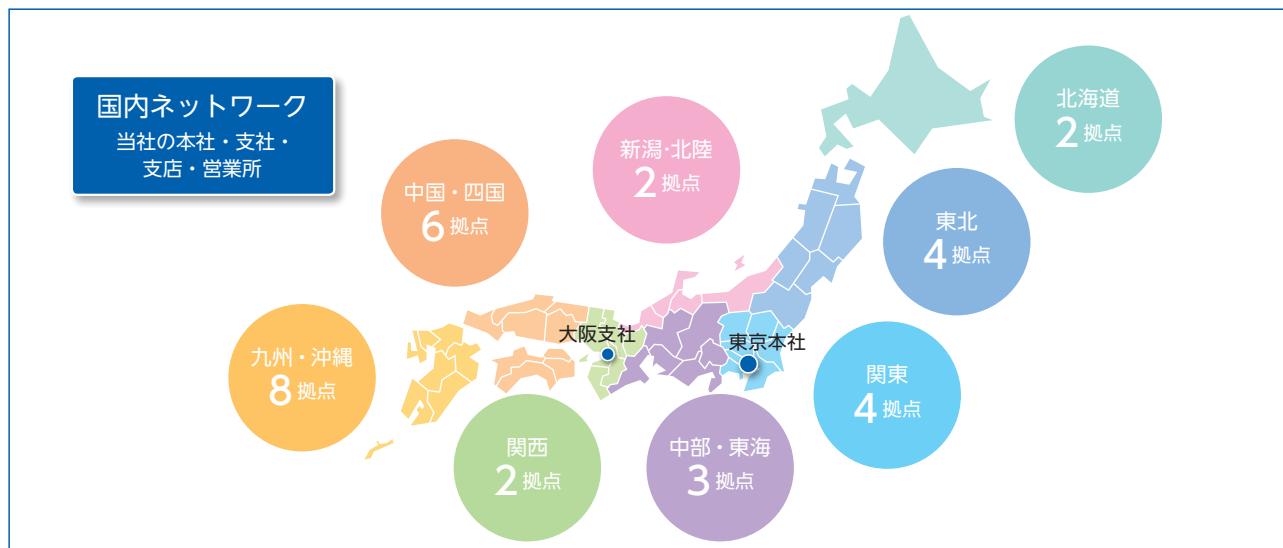
発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	32,307,800株
株主数	13,615名
大株主	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本製鉄株式会社	11,141	34.54
三井物産株式会社	6,428	19.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,579	4.90
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,352	4.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	506	1.57
日鉄物産従業員持株会	412	1.28
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	345	1.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	281	0.87
JP MORGAN CHASE BANK 385151	262	0.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・新日本電工 株式会社退職給付信託口)	216	0.67

(注) 持株比率は、自己株式(46,357株)を控除して計算しております。



国内外拠点 (2019年9月30日現在)



(注) ●は、当社及び海外グループ会社の所在する都市を示します。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031 (フリーダイヤル)
(照会先URL)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	電子公告の方法により、当社ウェブサイトにて行います。 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

ホームページのご案内

当社ホームページでは、会社情報や事業紹介といった基本情報をはじめ、株主・投資家情報やサステナビリティなどの情報も公開しております。ぜひご覧ください。

トップページ

IRページ

日鉄物産

検索

<https://www.nst.nipponsteel.com>

株式に関するお手続きについて

お手続き	お問い合わせ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
<ul style="list-style-type: none"> 株主名簿に記載の住所・氏名などのご変更 単元未満株式の買取請求および買増請求 配当金の受領方法のご変更 配当金の振込先のご変更 マイナンバーに関するお届け・お問い合わせ その他お手続きに関する事項 	<p>株式をお預けの証券会社にお問い合わせください。</p>	<p>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031 (フリーダイヤル)</p> <p>(株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいますが)を開設しております。)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 特別口座から証券会社の口座への振替申請 特別口座の残高照会 		
<ul style="list-style-type: none"> 支払期間経過後の配当金の支払請求 	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031 (フリーダイヤル)	

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載された将来の予測等は、開示の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されずことはお控えくださいますようお願いいたします。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

日鉄物産株式会社

〒107-8527 東京都港区赤坂八丁目5番27号
 TEL:03-5412-5001 (代表)
 ホームページURL: <https://www.nst.nipponsteel.com>



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に優しい「植物油インク」を使用しています。